

山梨県森林環境税に関するアンケート調査結果

県では、平成24年度から、荒廃森林を再生するための間伐をはじめとした森づくりや、木材の利用促進、地域における森づくり活動の支援などに、県民の皆さんにご負担いただいている森林環境税を活用しています。

来年度で森林環境税導入から5年目を迎えることから、県民の皆さんの森林や森林環境税に対する基本的な認識や考え方を把握し、森林環境税を活用した事業等の見直しの参考とさせていただくためにアンケート調査を実施しました。

1 アンケートの実施時期 平成28年1月

2 県政モニター配布数及び回答数

・当該質問に回答した人の実数（回答母数）を表記する場合は「N」と表示しています。

モニター種別	配布数	回答数	回答率
郵送	332	267	80.4%
インターネット	65	41	63.1%
計	397	308	77.6%

・集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してあるので、構成比の合計がちょうど100.0%にならない場合があります。

(問1) あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号を選択してください。

N = 308



(問2) あなたの年齢はおいくつですか。あてはまる番号を選択してください。

N = 308



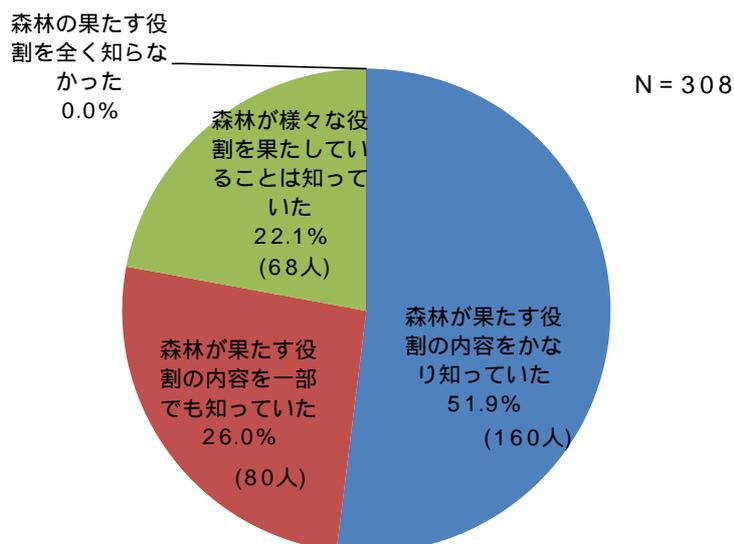
(問3) あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる番号を選択してください。

- 中北地域 甲府市 南アルプス市 甲斐市 中央市
昭和町 韮崎市 北杜市
- 峡東地域 山梨市 笛吹市 甲州市
- 峡南地域 市川三郷町 早川町 身延町 南部町
富士川町
- 富士・東部地域 都留市 大月市 上野原市 道志村
小菅村 丹波山村
富士吉田市 西桂町 忍野村 山中湖村
鳴沢村 富士河口湖町

N = 308

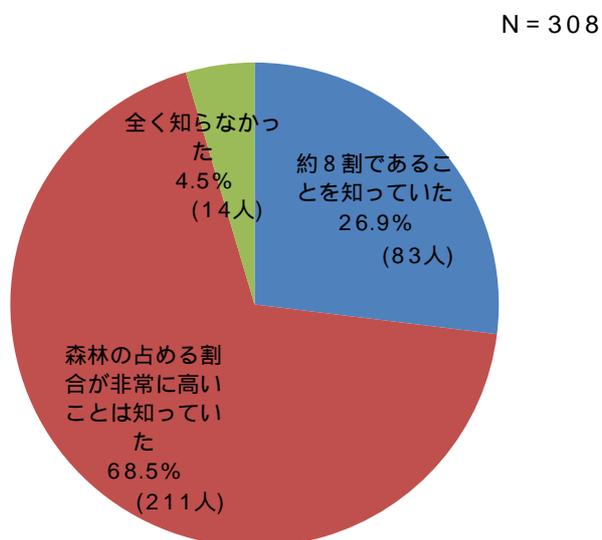


(問4) 森林は豊かな水やきれいな空気を育み、災害から県土を守り、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収するなど様々な役割を果たしていることをご存じでしたか。



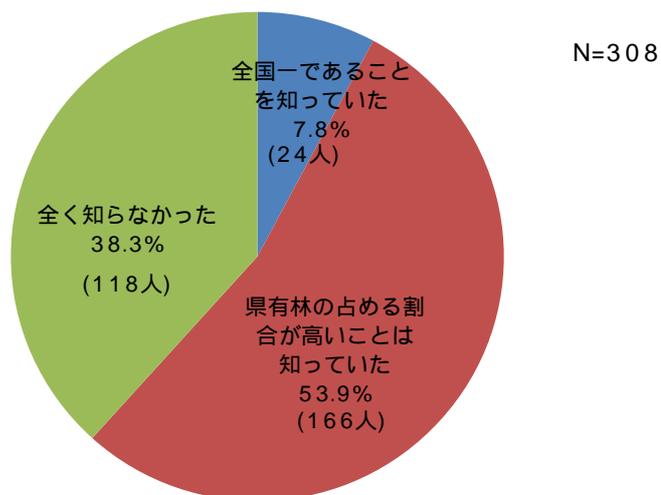
「かなり知っていた」「一部でも知っていた」を合わせ、アンケートへ回答されたすべての人が、森林が様々な役割を果たすことを知っていたと回答しました。

(問5) 山梨県は県土面積の約8割が森林であることをご存知でしたか。



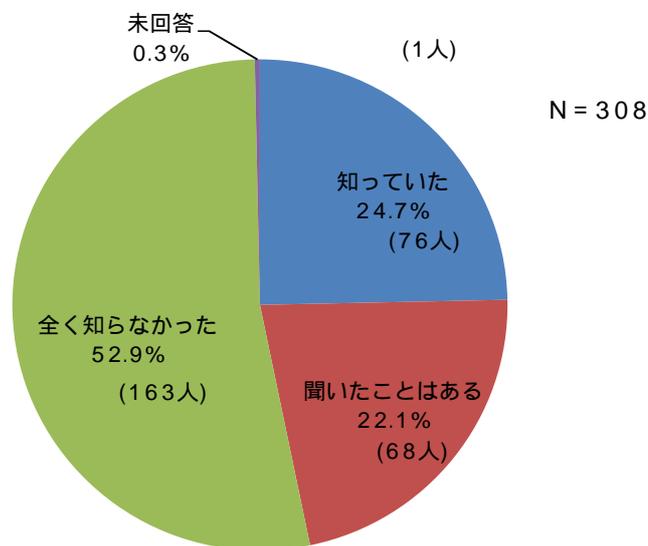
「約8割であることを知っていた」を含め、9割を超える人が本県が森林の占める割合が高いことを知っていたと回答しました。

(問6) 県有林が占める割合が全国一であることをご存知でしたか。



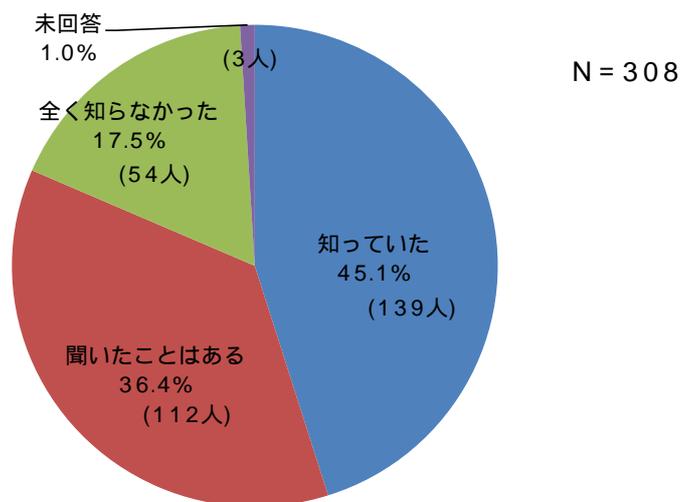
「全国一であることを知っていた」を含め、6割を超える人が本県の森林について県有林が占める割合が高いことを知っていたと回答しています。一方、「全く知らなかった」との回答も3割を超えてありました。

(問7) 神奈川県の水道水源である桂川流域において、山梨県が行う森林整備費用の一部を神奈川県が負担していることをご存知でしたか。



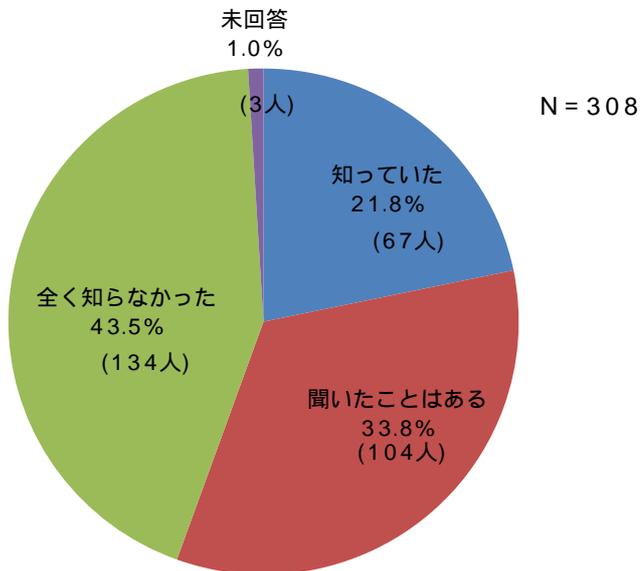
「知っていた」「聞いたことはある」を合わせた回答が半数程度ありました。一方、「全く知らなかった」との回答も半数を超えてありました。

(問8) 現在、山梨県の民有林の多くが荒廃し、森林の多面的な機能等に支障が生じていることをご存知でしたか



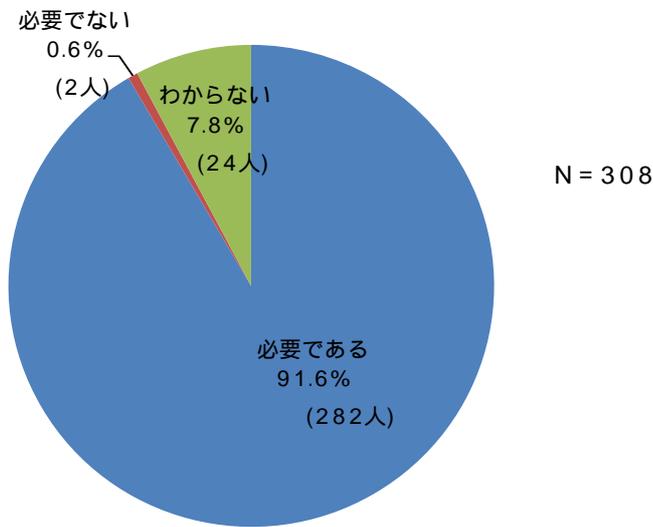
「知っていた」「聞いたことはある」を合わせた回答が、約8割ありました。一方、「全く知らなかった」との回答が約2割ありました。

(問9) 山梨県では、荒廃した森林を再生することなどを目的に、平成24年度から森林環境税を導入した事業を進めています。このような取り組みをご存知でしたか。



「知っていた」「聞いたことはある」を合わせた回答が、半数以上ありました。一方、「全く知らなかった」との回答も約4割ありました。

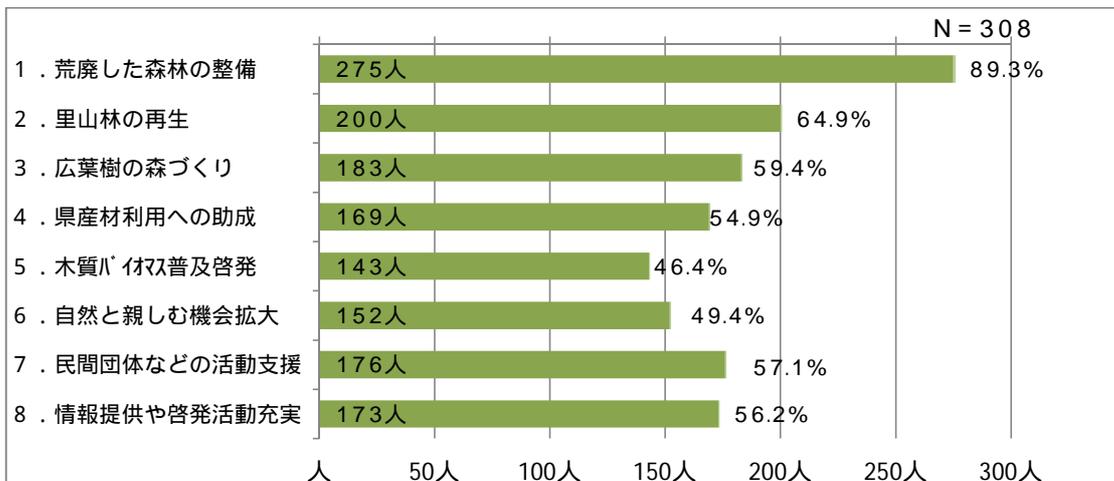
(問10) 山梨県には、荒廃した人工林や生い茂った竹林等がまだ多いなど課題があります。これらの課題に対して行う森林環境税による森林整備などの取り組みをどのように思われますか。



「必要である」との回答が約9割ありました。

問11 現在森林環境税を活用して取り組んでいる次の事業について、制度を継続した場合、引き続き実施すべきと思われる取り組みはどれですか。(番号をいくつでも選択)

1. 荒廃した森林の整備
2. 里山林の再生
3. 広葉樹苗の植栽など広葉樹の森づくり
4. 県産材利用への助成(学校への机・椅子導入補助)
5. 木質バイオマスエネルギーの利用促進に向けた普及啓発
6. 森林や環境についての学習や自然と親しむことができる機会の拡大
7. 森林保全や環境問題に取り組むボランティア・民間団体などの活動支援
8. 森林環境税への理解を深めるため、森林の大切さや環境問題などに関する情報提供や啓発活動の充実

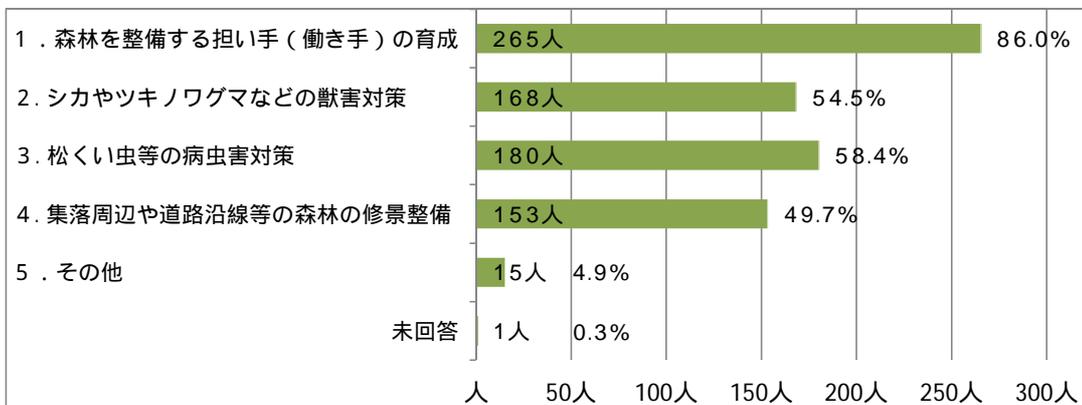


「荒廃した森林の整備」が約9割と最も多く、「里山林の再生」「広葉樹の森づくり」が約6割と続きます。その他の項目も約5割ありました。

(問12) 制度を継続した場合に、問11に掲げる現在の取り組み以外に取り組んだ方が良いと思われる事業はありますか。(番号をいくつでも選択)

1. 森林を整備する担い手(働き手)の育成
2. シカやツキノワグマなどの獣害対策
3. 松くい虫等の病虫害対策
4. 集落周辺や道路沿線等の森林の修景整備
5. その他

N = 308



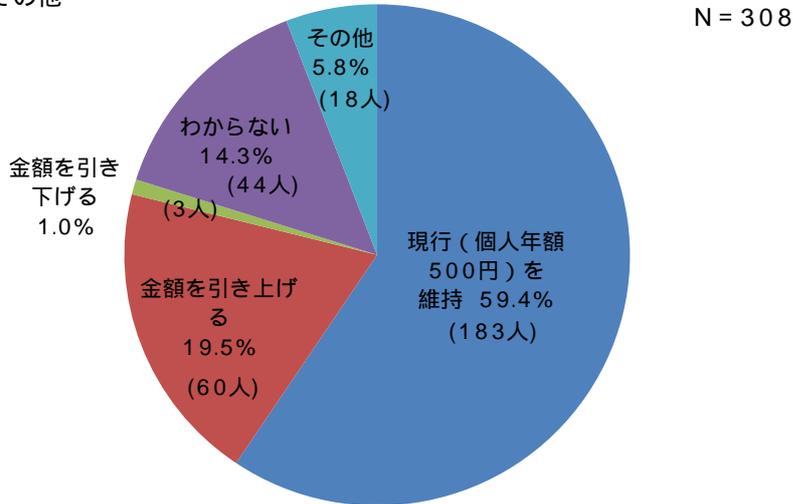
「森林を整備する担い手(働き手)の育成」が8割を超え最も多く、その他の例示項目も約5割ありました。

その他意見

- ・ペレットストーブへの助成
- ・指導者育成
- ・若年層への啓蒙・啓発活動
- ・県民への広報
- ・川の上に出ている森林整備
- ・登山道等の整備
- ・林道、作業道への補助
- ・森林整備(強化、水源確保)
- ・不法投棄対策
- ・狩猟登録と駆除事業
- ・太陽光発電用パネル設置の規制
- ・森林産業の安定化策

(問 1 3) 森林環境税は、個人年額500円を負担していただいています。
 今後も継続する場合、どの程度の負担が適当と思われますか。

1. 現行（500円）を維持すべき
2. 金額を引き上げるべき
3. 金額を引き下げるべき
4. わからない
5. その他



金額を「引き上げる」または「引き下げる」とした回答の内訳

引き上げる	19.5%	引き下げる	1.0%
	60人		3人
600円	1人	400円	0人
700円	2人	300円	2人
800円	5人	200円	1人
900円	人	100円	0人
1,000円	41人		
1,000円超	6人		
未回答	5人	未回答	0人

「現行（個人年額500円）を維持」が約6割と最も多く、「金額を引き上げる」が約2割と続きます。「わからない」が約1割、「引き下げる」が1%ありました。

その他意見

- ・ 金額を引き上げるか下げるかではなく有効に利用されているかどうか問題
- ・ 税の活用内容による
- ・ 500円負担で充分なのか足りないのかわからないので回答できない
- ・ 何にどれだけの金額をかけ、どんな成果を示した上で随時検討
- ・ 引上げた分で県産材を使用した物品を作る
- ・ 県産材利用の製品拡大（家具等）
- ・ 根拠はないが上げても良いと思う
- ・ 必要な限りアップしてもいいと思う
- ・ 年額500円負担していることを知らなかった
- ・ 今まで実施してきた内容を精査、検証され、それに基づき検討すべき

(問14)最後に、森林環境税を活用した取り組みについて、
何かご意見、ご提案がございましたら、ご自由に記入ください。

(主なご意見)

- ・地球温暖化防止や災害防止など、私たちの暮らしの中で、森林は大切なものなので協力していきたい。
- ・森林環境税制度を知らない人が多いと思う。森林環境税がどのように活用され、どのような効果等が出ているのかなど、県民に対してもっと情報提供が必要。
- ・長い取り組みとなる課題であり、森林整備は大事なこと。継続してほしい。
- ・子供達が自然を学びながら、植林などを通して自然とふれあえる機会があると良いと思う。
- ・森林整備のための若い働き手を育成することが重要だと思う。
- ・獣害対策が必要。
- ・県産材の活用や普及啓発に力を入れて欲しい。